

## 要 旨

### 試験委託者

環境庁

### 表 題

3a,4,7,7a-テトラヒドロ-1H-インデンのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する急性毒性試験

### 試験番号

6 B 7 1 6 G

### 試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.203「魚類毒性試験」(1992年)に準拠して実施した。

- 1)被験物質： 3a,4,7,7a-テトラヒドロ-1H-インデン
- 2)暴露方式： 半止水式(24時間毎に試験液の全量を交換)
- 3)供試生物： ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- 4)暴露期間： 96時間
- 5)試験濃度： 対照区, 助剤対照区, 2.00, 4.00, 8.00, 16.0および32.0mg/L  
(設定値) (公比; 2.0)  
(助剤; HCO-30およびホルタル7<sup>®</sup>使用, 助剤最高濃度96mg/L)
- 6)試験液量： 5.0L
- 7)連数： 1 容器/濃度区
- 8)供試生物数： 10尾/濃度区
- 9)試験温度： 24±1℃
- 10)照明： 16時間明/8時間暗
- 11)被験物質の分析： GC法

### 結 果

- 1)試験液中の被験物質濃度：試験区において設定濃度に対して±20%を越える分析結果があったため、以下の値は測定濃度の幾何平均値を基に示した。
- 2)96時間の半数致死濃度(LC50)：4.41mg/L  
(95%信頼区間：3.06mg/L~6.36mg/L)